

## ワクチン接種3回目の体制 感染症専門家会議で議論

9月29日、市役所で感染症専門家会議が開かれ、新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種に向けた体制や今後の市民の社会活動について話し合われました。

会議には、座長を務める長崎大学熱帯医学研究所の山本太郎教授をはじめ、吉備医師会の平川秀三会長、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野の頼藤貴志教授ら、医療関係者15人が会場やオンラインで参加。市長は冒頭のあいさつで、この日時点で全人口の73.7%が1回目、66.1%が2回目のワクチン接種まで完了しており、10月には75%が完了する見込みであると発表。その上で、「市民が交流する場での社会活動の緩和や今後行われる3回目のワクチン接種について、委員の皆さまの考えをお伺いしたい」と述べました。

参加者からは、「感染状況などの変化に応じて、対策も変えていかなければならない」、「市内のみでの社会活動の緩和は可能だと思う」、「2回目の



市内外の医療関係者が出席し、市の感染症対策について話し合った

接種以降に抗体が減っていくことから、国の検討を踏まえつつ、3回目の接種は必要」などの意見が出されました。

今後は、3回目のワクチン接種に向けた体制整備を進めていきます。

**問い合わせ** 新型コロナウイルス感染症対策室 (☎8278)



(↑) 大規模接種会場では、1日当たり最大2000人のワクチン接種を実施。希望者の早期接種完了に努めた



(↑) 児童・生徒の感染により休校した場合に備え、小・中学校におけるオンライン学習指導の環境を整備した。写真は、総社東小学校で実際に学習指導を行った様子

# 希望者へワクチン接種完了 市民の75%が 抗体をもつ社会を実現

### ワクチン接種 進捗状況

	1回目接種	2回目接種
被接種者数	53,035人	50,596人
接種率	人口の75.9% 接種対象者の85.4%	人口の72.4% 接種対象者の81.5%

※10月12日時点

## 米買い取り価格を上げ コロナ禍の 米農家を救う

コロナ禍の影響により米の消費が落ち込み、買い取り価格が下落しています。米農家を支援するため、1俵当たり4000円の支援金を交付します。対象の米農家には通知を送付しています。

品種	価格(玄米1俵当たり) 農家総受取額	
きぬむすめ		
ヒノヒカリ	1等米 14,000円	うち支援金 4,000円
にこまる	2等米 13,700円	
朝日		
アケボノ	1等米 12,220円	
	2等米 11,920円	

※水稲作付面積1反当たり上限2俵(アケボノは1俵)

**問い合わせ** 農林課地食係 (☎8273)



(←) 市内での感染者数減少に伴い、休館していた公共施設を9月25日に再開。公民館での講座や子育て交流施設の利用をはじめとする社会活動が再び始まった

※発熱がある場合などの相談先については、21ページで確認してください